

第2章 まちづくりの分野

第1節 健やかな人とともに育むまちづくり



子育て支援

主な担当課：福祉介護課
学校教育課

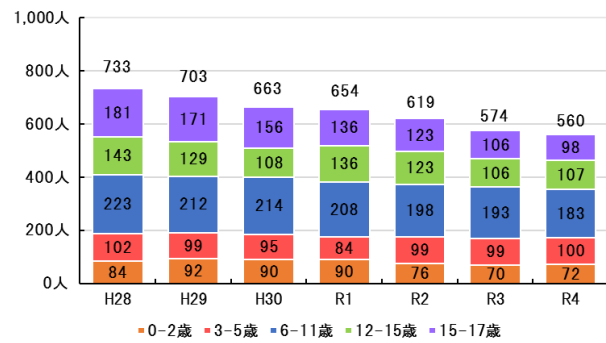


現状と課題

- 核家族の増加、地域社会との繋がりが希薄化する中、子育て支援体制や各種子育て支援策の充実を図ってきました。
- 平成 29 年に開園したこゆりこども園において、平成 30 年度から保育料完全無料とし、延長保育や一時保育など、保護者の保育ニーズに対応した保育環境の整備が図られています。待機児童は発生していないものの、乳児を中心とした途中入園児童が増加傾向にあるため、保育士の配置等、柔軟に対応できる体制整備が必要です。
- 保育・教育を担う施設であるこゆりこども園では、年齢や発達段階に応じてきめ細やかな保育・幼児教育を実施しており、令和 3 年度からは幼児教育・保育アドバイザーを配置し、保育内容のさらなる充実と小学校との交流事業や情報共有など連携を強化しています。
- こども園内に設置された子育て支援センターでは、妊娠から出産、子育て期における切れ目のない子育て支援に取り組んでいます。また、支援を必要とする児童に対し、保護者や保育士と情報共有し、緊密な連携を図っています。
- 沖縄交流や英語教育・異国文化体験事業など、今後も様々な文化や地域との交流機会の創出を継続していきます。

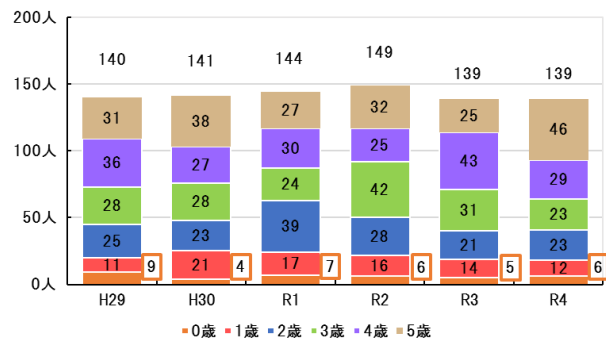
◆統計やアンケート調査から

西会津町の子ども数の推移



資料:住民基本台帳

こゆりこども園児数の推移



※各年 4 月 1 日現在
資料:子育て支援センター

取組の方向性

コロナ禍による影響で子育て世代や地域の交流活動が少なくなり、様々な体験活動が制限される中、さらなる保育ニーズの把握と実施に向けた検討を行っていきます。

放課後児童クラブにおいては、地域の方々やボランティア活動サポートセンターと連携し、さらに充実した活動時間を過ごせるよう検討していきます。

こども園、小学校、中学校が隣接している環境を生かし、保小中連携教育カリキュラムを作成、実践し、架け橋期における保小連携を継続的に行い、こども園から小学校へのスムーズな進学と家庭の教育力向上を図っていきます。



こんなまちになったらいいな

- 子どもから子育て中の保護者、高齢者までつながる交流の場があるまち
- 「ここに生まれ、ここで育ち、住んで良かった」を実感できるまち

具体的な取組

1 保育ニーズ調査の実施

さらなる保育サービスの充実を図るため、保護者の保育ニーズ調査を実施し、新たな子育て支援策について検討します。

2 幼児教育の推進

子どもが健やかに成長するために必要な幼児教育を、保護者、地域、学校と連携を図り推進します。

主な実施事業	①幼児教育の充実（体験活動等） ②幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業
--------	--

3 各種子育て支援

子育て支援センターの充実や保育料無償化などの経済的負担の軽減、地域が一体となった子育て支援体制の充実により、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めます。

主な実施事業	①母子保健事業 ②出産祝金 ③子育て医療費サポート事業 ④ひとり親支援事業 ⑤子育て広場の活動支援と拡充 ⑥要支援児童等の見守り体制の強化	⑦このとりサポート事業(不妊・不育治療) ⑧乳幼児家庭子育て応援金 ⑨インフルエンザワクチン接種事業 ⑩町内企業への子育て支援策の啓発活動 ⑪ファミリー・サポート・センターの設置の検討 ⑫子育てコミュニティ施設「キッズランド芝草」の活動支援と拡充
--------	--	--

4 子どもの交流機会創出

子ども達の視野が広がるように、身近な地域とともに他の地域の人々や文化と交流する機会を設けます。

主な実施事業	①沖縄交流事業 ②英語教育・異国文化体験事業 ③芸術・文化鑑賞会の開催 ④自然・農業体験の充実
--------	--

数値目標

目標名	現状値 (令和4年)	目標値 (令和7年)	目標設定の説明
出生数	25人	31人	子育て支援の充実や若者の移住定住の促進などにより出生数を増やす
子育て広場の年間利用者延べ人数	100人	700人	子育て広場の活動により子育て世帯の居場所づくりを進める
地域ボランティアの活動回数	12回	48回	こども園での地域ボランティアの活動回数を増やし、地域ぐるみで子育て支援の充実を図る





みんなで取り組むこと

- ・相互に声を掛け合える環境づくりを心がけます。
- ・子どもと一緒に地域行事に積極的に参加します。



教育環境

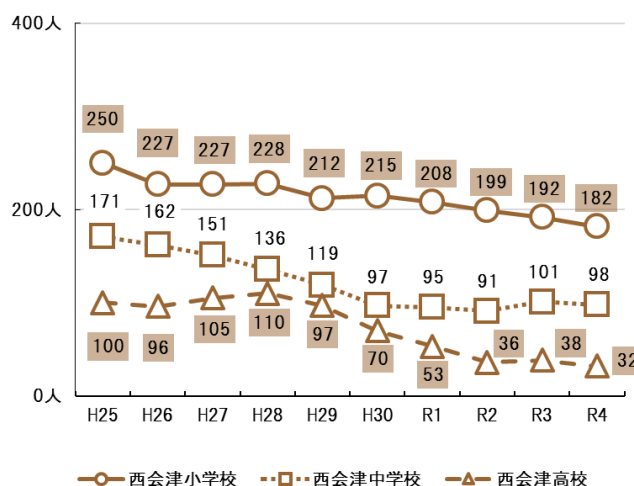
主な担当課：学校教育課

現状と課題

- グローバル化や急速な情報化・技術革新が進み、将来の変化を予測することが困難な時代となり、次代を担う子ども達には、学力や体力はもとより、自制心ややり抜く力などの「非認知能力」の育成も含めた教育が望まれています。
- 町では、国のGIGAスクール構想に基づき、小中学校のICT環境を整備し、児童生徒に1人1台のタブレット端末を配付しており、ICTを活用した教育が進んでいます。これにより、個に応じた学習や主体的な学習が展開しやすくなる一方、児童生徒が責任を持ってタブレット端末やインターネットなどのデジタルツールを適切に活用するための知識や能力（デジタルシティズンシップ）の育成が求められています。
- 町に受け継がれてきた地域の教育力などの時代を超えて変わらない価値があるもの（不易）と産官学民の知のリソース*の活用などの時代の変化とともに変えていく必要があるもの（流行）を融合した教育の実践により、個別最適な学びと協働的な学びを推進しています。
- 平成29年度から取り組んでいる地域学校協働本部事業に加え、令和2年度に学校運営協議会が設置され、小中学校がコミュニティスクールとなったため、地域・学校・家庭が一体となった教育活動を展開する組織が整い、「地域に開かれた教育」を展開しています。
- 県が策定した県立高等学校改革前期実施計画では、西会津高校の1学級・本校化の方針が示されましたが、入学者数は減少傾向にあります。

◆統計やアンケート調査から

西会津小・中学校、西会津高校の在籍児童・生徒数



資料：福島県統計課編 学校基本調査報告書

*産官学民の知のリソース：産業（企業）、官公庁（国・地方自治体）、学校（大学・研究機関）、民間（地域住民）のそれぞれが持つ知識・経験などの資源。

取組の方向性

町に受け継がれてきた地域の教育力を活用した「不易」の学びと産官学民の知のリソースや ICT を活用した「流行」の学びを融合し、主体的・対話的な深い学びを実践するとともに、ふくしま学力調査やリーディングスキルテストの結果の分析・把握により得られるエビデンスに基づいた「個別最適な学び」「協働的な学び」により、児童生徒の非認知能力を含めた学力の向上に努めます。

コミュニティスクールを推進し、地域・学校・家庭が一体となった特色ある学校づくりや学習活動の充実に努めます。

認定こども園と小中学校が隣接している環境を生かし、園と学校間の情報共有や家庭も含めた緊密な連携による教育を推進します。



こんなまちになったらいいな

- 子ども達が主役となった学びができるまち
- 地域全体で子ども達の学びや成長を支えるまち

具体的な取組

1 学校教育の充実

教育の不易と流行を継承し、町の歴史や自然を活用した体験活動を通して非認知能力の育成を図るとともに、新しい学びも積極的に取り入れながら、確かな学力や豊かな心、健康な体を育み、未来を拓く子ども達を育成します。

主な実施事業

- ①SDGs の視点に立った教育活動の推進
- ②ふくしま学力調査やリーディングスキルテストの結果分析・把握による学力向上
- ③ICT を効果的に活用した授業改善及び家庭学習の充実[4-3「情報通信」再掲]
- ④産官学民のそれぞれが持つ知識・経験を活用した教育の推進
- ⑤道徳教育等による情操教育の充実
- ⑥英語力の向上のための英語検定補助金及び英語教育・異国文化体験事業の実施
- ⑦教職員の指導力向上を図る校内研修の実施
- ⑧戸田市との教育交流提携に基づく児童生徒交流及び教職員研修の充実
- ⑨アントレプレナーシップ教育*による地域活性化の推進
- ⑩デジタルシティズンシップ教育による ICT の効果的な活用
- ⑪食育の推進（地産地消）
- ⑫「福祉と教育の連携」による特別支援の充実とインクルーシブ教育*の推進
- ⑬教育活動の充実のための学習アプリ等の教材・備品の整備
- ⑭学校施設の長寿命化のための計画的な修繕・改修
- ⑮給食センターの適切な維持管理による安全・安心な給食の提供

*アントレプレナーシップ教育：問題解決のための情報収集、企画力、実行力など起業家的な精神と資質・能力を育む教育。

*インクルーシブ教育：障がいの有無に関わらず、すべての子どもと一緒に学べる教育

2 学校・家庭・地域の連携

学校を核として地域住民などの参画を得ながら、地域全体で子ども達の学びや成長を支えるために様々な学校支援活動を展開し、また、こども園・学校・家庭が連携し、子ども達の健やかな成長を支援します。

主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ①コミュニティスクールの推進 ②地域学校協働本部事業の強化[1-3「生涯学習」再掲] 放課後子ども教室事業 学校支援事業 学校応援・地域交流事業 家庭教育支援事業（こころのオアシス） ③体験活動・交流機会の充実 ④「幼保小の架け橋プログラム」によるこども園・学校・家庭の連携 ⑤西会津国際芸術村との連携 ⑥自然・農業体験の充実
--------	--

3 西会津高校及び町内在住高校生の支援

西会津高校の魅力ある学校づくりを県や同窓会、PTAと連携しながら支援します。また、町内在住の高校生への支援に取り組みます。

主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ①西会津高校活性化対策事業 ②西会津高校学校運営協議会への参画 ③町内在住の高校生への支援（英語検定補助金、英語教育・異国文化体験事業の対象拡充など）
--------	---

数値目標

目標名		現状値 (令和4年)	目標値 (令和7年)	目標設定の説明
自分には良いところがある (自尊感情・自己肯定感)と感じている割合	小学校	85.2%	85%	子どもの自尊心や自立心などを育てる (該当する年度の小学校6年生及び 中学校3年生の全国学力・学習状況 調査による)
	中学校	66.7%	85%	
家で、自分で計画を立て て勉強している割合	小学校	66.6%	85%	
	中学校	58.3%	85%	



みんなで取り組むこと

- ・「子どもの居場所」をつくり、子ども達の成長を見守ります。
- ・子ども達に、歴史や自然を活用した体験活動や遊びを提供します。
- ・子ども達の学力向上や成長を支えるため、家庭や地域での学習を支援します。



生涯学習

主な担当課：生涯学習課
学校教育課

現状と課題

- 個人の価値観やライフスタイルの変化、高齢化の進行などを背景として、生涯学習へのニーズが多様化する中、町民が生涯にわたって学び、生きがいのある生活を送ることができる環境づくりや、学びを通じて習得した知識や能力を活用する機会の創出が求められています。
- 町民が実行委員会形式で主体的に発表の機会を設け活動をしていますが、新型コロナウイルス感染症の影響によりケーブルテレビを活用し発表をしています。
- 公民館施設は、照明器具など設備の更新を計画的に実施していますが、老朽化も進んでいることから、整備を検討する必要があります。
- 西会津中学校図書館は、おはなしの会、スタンプラリーの実施や読書通帳など町民一人ひとりが自主的に読書活動を行えるよう取り組んできましたが、引続き読書活動の推進が必要です。

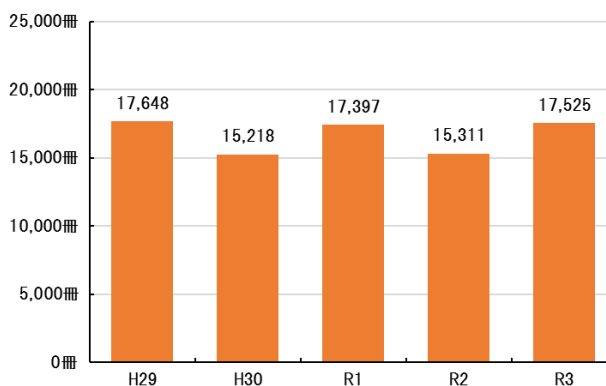
◆統計やアンケート調査から

公民館事業の参加者数

事業名称	参加者数(延べ)	
	平成29年	令和3年
家庭教育 (講演会・親子レク活動)	3,453人	1,846人
青少年教育	2,183人	200人
高齢者教育	826人	705人
芸術文化	10,513人	3,687人
成人教育	936人	644人
地区出前講座	321人	256人
スポーツ大会	3,779人	346人
スポーツ教室等	536人	595人

資料:生涯学習課

西会津中学校図書館貸出冊数



資料:生涯学習課

取組の方向性

一人ひとりが健康で充実した人生を送れるような講座や新型コロナウイルス感染症等社会状況に合わせた取り組みをしていきます。

地域との交流や地域資源を生かした体験活動を通して、児童生徒のコミュニケーション能力や自制心・やり抜く力などの非認知能力の向上を図っていきます。

町民の主体的な生涯学習活動を支援し、発表の場を設けていきます。

施設整備は、人口減少等を踏まえ、長期的視野に立ち今後検討を実施していきます。

図書館の利用促進のため、積極的に新刊案内などケーブルテレビ等を活用し継続的に広報を行い、読書活動の推進に努めます。



こんなまちになったらいいな

- 人と人がつながり、いきいき学び続けられるまち
- 生涯学習に携わり、みんな仲良く成長できるまち

具体的な取組

1 各種講座・教室の開催

町民のニーズに応じた、学ぶ意欲が高まり興味を引く講座・教室の開催に努めます。人が集まるところに出向いたり、各種団体と連携、LINEやホームページ等で広く周知したりすることにより参加者の拡大を図ります。また、町内の歴史や文化の学習に力を入れていきます。

主な実施事業	①各種教室・講座の開催	②出前講座の開催
	③歴史や文化に関する講座・教室の開催[1-5「歴史・文化・芸術」再掲]	

2 学校と連携した学びの場の創出

地域と学校が連携し、地域で子ども達の学びを支えます。

主な実施事業	①コミュニティスクールの推進
	②地域学校協働本部事業の強化[1-2「教育環境」再掲]

3 発表と交流の場の創出

町民の生涯学習の発表の場を設け、交流を通して、自ら習得したものを地域へ広めます。

主な実施事業	①生涯学習発表会の開催	②作品展示会の開催
--------	-------------	-----------

4 生涯学習活動施設の整備に向けた検討

町民誰もが生涯学習活動や文化活動を気軽に行えるような施設の整備や既存施設の活用を検討します。

5 図書館（室）利用の促進

中学校の町民図書館や支所、連絡所の図書室を一体的に活用できる環境を整え、幼児から高齢者まで本に触れる機会を増やしていきます。

数値目標

目標名	現状値 (令和3年)	目標値 (令和7年)	目標設定の理由
出前講座開催数	25回	30回	人が集まるところに出向き、参加者を拡大する
生涯学習発表会などの参加団体数	22団体	22団体	生涯学習団体を支援し、発表会の参加団体を現状維持する
中学校図書館貸出冊数	17,525冊	18,500冊	読書活動を推進し、図書の貸出し冊数を増やす

みんなで取り組むこと

- ・自ら進んで学習するよう努めます。
- ・生涯学習活動の企画・運営を主体的に行います。
- ・習得した知識や技能は、地域の活動に生かします。



スポーツ

主な担当課：生涯学習課

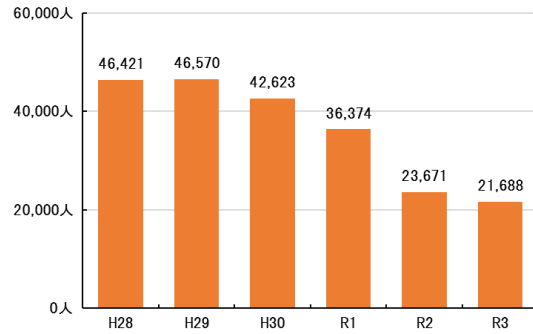
現状と課題

- モルック、ポッチャなどのニュースポーツ*を通し一人でも多くの方にスポーツへの関心を持ってもらい参加してもらえよう努めています。しかし、多くの方が仕事や家庭の都合などにより継続して取り組めていない状況です。
- さゆり公園の運動施設の維持管理については、年次計画に基づき修繕を行っています。
- 各地区の体育協会やスポーツ少年団、各種スポーツ関係団体を支援し、協力しながら事業を行っています。スポーツ少年団においては組織の強化を図るため、各団体を統合し、一本化しました。しかし、少子化により年々団員数が減少するなど課題があり、団体そのものの維持が難しくなっています。また、スポーツ団体によっては、行政に依存した運営や活動体制が続いています。
- 市町村対抗駅伝など各種スポーツ大会へ積極的に参加しています。しかし、少子高齢化により、大会参加にあたっての選手及び係員などの人材の確保が年々困難になっています。
- 西会津スポーツクラブは、身近な地域で子どもから高齢者まで様々なスポーツを愛好する人々が、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できるという特徴を持つ総合型地域スポーツクラブであり、地域住民により自主的・主体的に運営されています。クラブには、スイミングやヨガなど7つの教室があり、令和4年度は67人で活動しています。

***ニュースポーツ**：技術やルールが比較的簡単で、子どもから高齢者まで容易に楽しめる新しく考案されたスポーツのこと。

◆統計やアンケート調査から

さゆり公園スポーツ施設利用者の推移



施設別利用者内訳（令和3年度）

施設名	人数
体育館	6,358人
テニスコート	23人
バスケット	3人
野球場	1,215人
多目的広場	1,584人
プール	12,505人
合計	21,688人

資料：西会津町

前計画の取組の満足度

取組：スポーツ活動の推進

満足度	重要度
満足・やや満足 30.2%	重要・やや重要 47.2%
不満・やや不満 10.2%	重要でない・あまり重要でない 4.9%

資料：総合計画策定のためのアンケート調査

取組の方向性

各種団体と連携しながら、スポーツの普及と発展に努めます。また、団体の機能強化を目指し、自立した運営ができるよう支援します。また、持続可能なスポーツ活動ができる社会の実現に向けた取り組みを行うため、ニュースポーツの普及を促進します。



こんなまちになったらいいな

- 生涯にわたって自分に合ったスポーツや運動に親しめるまち
- スポーツを通じて年齢に関係なく交流が生まれるまち

具体的な取組

1 スポーツ環境の整備

スポーツ活動の普及と促進、さゆり公園運動施設の適正な維持管理など、誰もがいつでも、どこでも、主体的にスポーツに親しめる環境を整備します。

主な実施事業	①西会津スポーツクラブの育成 ②ニュースポーツ等の普及 ③さゆり公園施設の計画的な維持修繕[4-5「自然・環境保全」再掲]
--------	---

2 スポーツ団体等支援

各種スポーツ団体やスポーツ少年団などの自主的な活動を支援するとともに、活動の周知を図ります。

主な実施事業	①スポーツ大会参加補助金 ②スポーツ少年団育成補助金
--------	-------------------------------

3 競技力向上のための支援

各種スポーツの競技力向上や指導者の育成に努めます。

主な実施事業	①各種資格取得講習会・勉強会等の情報提供と参加支援 ②各種市町村対抗スポーツ大会への参加
--------	---

数値目標

目標名	現状値 (令和3年)	目標値 (令和7年)	目標設定の説明
西会津スポーツクラブ会員数	57人	100人	西会津スポーツクラブの充実を図り会員数を増やす
施設利用登録スポーツ団体	10団体	10団体	スポーツ団体を支援し、活動を活性化させる
さゆり公園スポーツ施設年間利用者数	29,509人	40,000人	施設の適切な維持管理と各種スポーツの普及により利用者を増やす

みんなで取り組むこと

- ・自分に合ったスポーツや運動に無理せず取り組みます。
- ・各種体育行事に参加または協力します。



歴史・文化・芸術

主な担当課：生涯学習課

現状と課題

- 過疎化や少子高齢化の進行により地域の伝統行事の担い手が減少し、継続が困難なものもあります。しかし集落支援員や地域おこし協力隊が活動の補助を行って、復活した例もあります。また、歴史文化基本構想策定事業で生まれた地域の宝を題材にした「にしあいづ物語」についての講座や広報紙への掲載を行っています。
- 春の野草展、町民美術展、生涯学習発表会などを開催し、民間の団体・サークルが主体となって展示発表を行っています。また、ふるさとまつりでは、小中学生の作品などの展示も行っています。
- 過疎化・少子高齢化の影響により、途絶えてしまったものもありますが、困難な状況の中、集落や団体の努力により保存継承されている伝統産業もあります。また、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となった行事があったことから今後の進め方を検討していく必要があります。
- 創作和太鼓事業の普及において、和太鼓の体験をしてもらい興味を持ってもらえるよう普及を継続して実施していく必要があります。
- 国際芸術村では公募展を毎年行っているほか、企画展を随時開催し、また、町内の様々な場所で個人愛好家や小中学生の作品展示を行っています。
- 埋蔵文化財については、令和3年度「上小島遺跡、芝草小屋田遺跡出土品」が県重要文化財に指定され、また、令和2年度から令和3年度にかけ編集してきた「改訂版西会津町の指定文化財」を令和4年度に発刊しました。今後も民俗資料や歴史資料の保存に努める必要があります。

◆統計やアンケート調査から

西会津町の指定文化財の状況（令和4年3月）

種別	国	県	町	計	
有形文化財	建造物	1	1	—	2
	絵画	1	—	3	4
	彫刻	—	2	5	7
	工芸品	—	—	7	7
	書籍・典籍	—	—	1	1
	古文書	—	1	—	1
	考古資料	—	2	—	2
	歴史資料	—	1	4	5
	小計	2	7	20	29
無形文化財	芸能	—	—	—	0
	工芸技術	—	—	—	0
	小計	0	0	0	0
民俗文化財	有形	—	—	—	0
	有形	—	2	3	5
	小計	0	2	3	5
記念物	史跡	—	—	7	7
	名勝	—	—	—	0
	特別天然記念物	1	—	—	1
	天然記念物	—	3	9	12
小計	1	3	16	20	
登録文化財	—	—	—	0	
合計	3	12	39	54	

資料：「西会津町歴史文化基本構想」より抜粋

前計画の取組の満足度・重要度

取組：芸術文化活動の推進

満足度		重要度	
満足・やや満足	30.1%	重要・やや重要	44.0%
不満・やや不満	8.4%	重要でない・あまり重要でない	6.2%

資料：総合計画策定のためのアンケート調査

取組の方向性

「にしあいつ物語」に関する講座・広報紙への掲載については今後も継続していき、町民に対する歴史文化の周知・啓発活動を行っていきます。また、平成29年度に策定した「西会津町歴史文化基本構想」をもとに、提案のあった内容の推進・実践を行い、構想の具現化を図っていきます。

「屋敷人形芝居の道具」は、町の重要文化財に指定されており、保存会の設立に向け支援をしていきます。

国際芸術村や彫刻を設置しているさゆり公園のほか、芸術文化に触れる場所や機会をつくり、芸術文化の薫り高いまちづくりを進めていきます。

歴史資料等をデジタルアーカイブス化し、保存活用を図ります。



こんなまちになったらいいな

- 伝統文化や歴史に触れられるまち
- 芸術文化活動の成果を気軽に発表・展示することができるまち

具体的な取組

1 歴史・文化等の周知

「地域の宝」、「町の誇り」である伝統文化や歴史、自然などを再度見直し、新たな町の文化の創造と町民のプライドの創生を目指します。

主な実施事業

- ① 歴史や文化に関する講座・教室等の開催[1-3「生涯学習」再掲]
- ② ケーブルテレビや広報紙などを利用した広報・啓発活動の実施

2 文化活動の推進

自主的な活動をさらに推進するとともに、近隣市町村や民間団体と連携し、文化活動の鑑賞や発表の機会を提供します。

主な実施事業

- ① コンサートや展覧会などの開催

3 民俗芸能等の保存・継承

「野沢草刈踊り」や「黒沢早乙女踊り」などの民俗芸能の保存を進め、各地域に残る伝統文化の継承を図ります。

主な実施事業

- ① 民俗芸能の講習会の実施
- ② 民俗芸能保存団体支援制度の創設
- ③ 民俗芸能発表会の開催

4 芸術文化の振興

公民館や西会津国際芸術村に加え、利用可能な空きスペースなどを利用して社会教育団体等が作成した作品の展示を行い、芸術に触れる機会を設けることで、芸術文化の薫り高いまちづくりを進めます。

主な実施事業

- ① 西会津国際芸術村事業[2-3「観光・交流」再掲]
- ② 芸術・文化鑑賞会の開催

5 埋蔵文化財や民俗資料などの保存・活用

埋蔵文化財や民俗資料などの歴史資料を良好な状態で後世へ伝えるため、適正な管理を行います。また、指定文化財については、所有者や地域との協働により保存・活用を図ります。

西会津町歴史文化基本構想等推進委員会を核として「西会津歴史文化基本構想」の実現に努めます。

主な実施事業	①埋蔵文化財や民俗資料などの展示に向けた整理と保存
	②文化財展示スペースの整備
	③歴史文化に関するイベント実施団体への支援

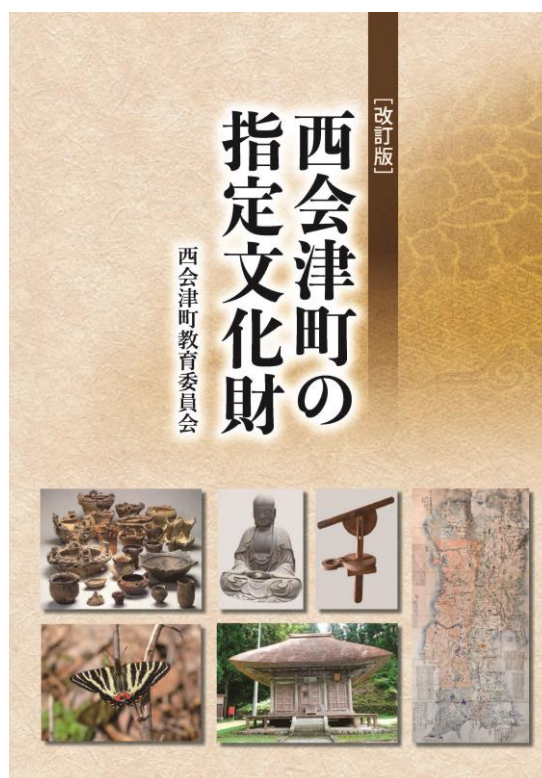
数値目標

目標名	現状値 (令和3年)	目標値 (令和7年)	目標設定の説明
絵画、写真等の展覧会を行った施設数	2施設	10施設	芸術等に触れる機会を確保するため展覧会の開催施設数を維持する

西会津町歴史文化基本構想



平成30年3月
福島県西会津町





みんなで取り組むこと

- ・地域に伝わる伝統文化・民俗芸能の継承活動に協力します。
- ・町内で開催される展覧会などに積極的に出かけます。

